

宝のさとふる感じる会に出

文化財
すくろく

すくろくを楽しみながら市内の指定・登録文化財を知ることが出来ます。

お正月は家族や友人とサイコロを振って、文化財すくろくを楽しんでみませんか。

それは、スタート！

①小野家住宅(国の重要文化財)

林2丁目
にあり、18世紀初めに建てられたと推定される。武蔵野の開拓農家の面影を残している建造物。



②東の上遺跡(市指定)

古代日本の幹線道路「東山道」武蔵の遺構が県内で初めて見つかる。



③荒幡の富士(市指定)

明治時代に15年かけて、荒幡村民が築いた人工の富士山。



④岩崎獅子舞(市指定)

平成26年に起源伝承400年を迎えた。山口の岩崎地区に伝承され、毎年10月の第2土曜日に瑞岩寺で披露。



文化財とは


文化財は、わが国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産です。

市内に残る文化財

市内には、国4件、県11件、市85件、合計100件の指定文化財と国7件、市1件、合計8件の登録有形文化財があります(平成26年12月22日現在)。

文化財展で展示する市指定文化財 弥右衛門覚書

南永井村の吉田弥右衛門とその子孫が記した覚書で、さつまいもの栽培開始についての貴重な記事が収められています。寛延4年(1751)、南永井村の名主であった吉田弥右衛門は息子の弥左衛門を上総国志津村(現在の千葉県市原市)に派遣し、さつまいもの種芋を買い、9日間かけて帰宅しました。吉田家では、その種芋からさつまいもの栽培を開始し、近隣の村々にも広めました。



⑤滝の城跡(県指定)

柳瀬の城地区にある城跡。15世紀後半に大石氏半が築き、天正18年(1590)に落城したと言われる。



⑥黄林閣(国の重要文化財)

松永安左衛門の旧別荘「柳瀬荘」の主要建物。



所沢市文化財展

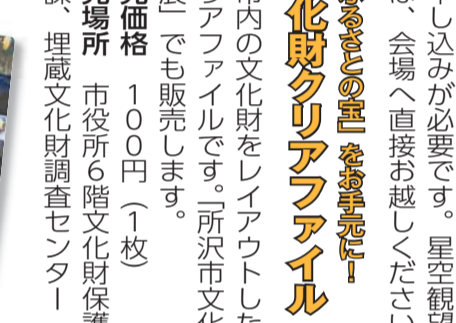
市内の文化財を展示・紹介し、新たな年の始まりに「ふるさと所沢」の歴史や文化を体感しに来ませんか。

1月9日(金)21日(水)12日(祝)を除く午前9時～午後5時
◎入場は午後4時30分までです。
場生進学習推進センター企画展示室

文化財クリップファイル

市内の文化財をレイアウトしたクリップファイルです。所沢市文化財展でも販売します。

販売価格 100円(1枚)
販売場所 市役所6階文化財保護課、埋蔵文化財調査センター



文化財を守り伝える

吉田浩明さん(南永井在住)「弥右衛門覚書」の所有者、父の思い出話になります。

「吉田家はさつまいも元祖の家」「南永井村をつくった名主の家」とよく言われていたこと、古文書を虫干していた姿を思い出します。子どものころからこうした古文書に触れていたのが、私が文化財を継承することは普通のことだと思っていました。我が家のルーツを知ることができるのは、「弥右衛門覚書」が先祖代々の努力によって今に受け継がれてきたからだ実感しています。

この覚書には、さつまいも作り初めのことのほかにも、村の始まり、当時の名主の役割や近隣の村の様子、家の系図など、貴重な内容が記されています。自分につながる先祖の生きた証を解明したく、

私は、文化財を所有する立場となつて改めて強く興味を持ちました。市には多くの方々に、市の歴史や文化財に興味を抱いてもらえるよう、啓発活動に努めてもらいたいと考えています。そして、興味を持った市民の皆さんと一緒に所沢に伝わる文化財を後世に伝えていきたいと思えます。



⑦八雲神社祭礼用具附箱十二合(市指定)

有楽町八雲神社の祭礼行事「天王様」で使用した祭礼用具。



旗本の知行と村

1月17日(日)午前10時～11時30分
講義「旗本の知行と村」
講者 右喜さん

1月17日(日)午後2時～午後6時
講演会「四神と星宿、中国星界の世界」
講演者 星空観望会

旗本沢氏画像

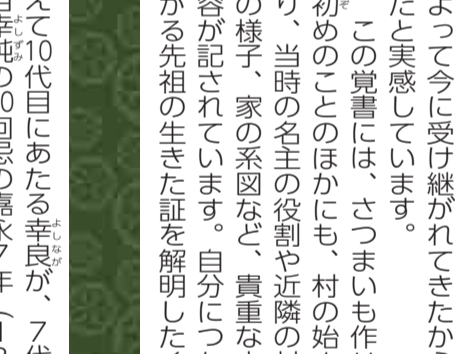
沢氏は、江戸時代に三ヶ島村の一部を支配した旗本です。沢氏の先祖は小田原北条氏に仕えていたが、北条氏の滅亡後は徳川家康に仕え、家康から三ヶ島村のうち150石の知行地を与えられ、幕末まで同地を支配しました。三ヶ島地区にある妙善院は、沢吉縄が創立開基した寺院で、沢氏の菩提寺となっています。

旗本沢氏画像は、沢吉縄から数



えて10代目にあたる幸良が、7代目幸純の50回忌の嘉永7年(1854)に妙善院へ奉納した掛軸です。幸純夫妻、8代目幸光と9代目幸得両夫妻が描かれています。

▲旗本沢氏画像(第一幅)

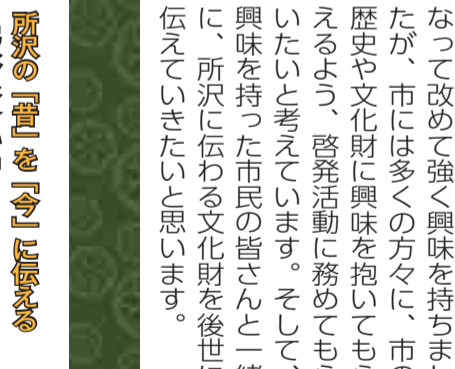


所沢の「昔」を今に伝える 民俗資料館

それぞれの地域で使われていた農具などを展示しています。

開館日 ◆中富民俗資料館(中富ケ谷279-13)：第1・4日曜日と第2・3金曜日 ◆山口民俗資料館(山口1529-10)：第1・3日曜日と第2・4木曜日

開館時間 午前9時～午後4時30分
◎1月から開館時間変更になりました。



⑧所沢郷土美術館主屋(国の登録有形文化財)

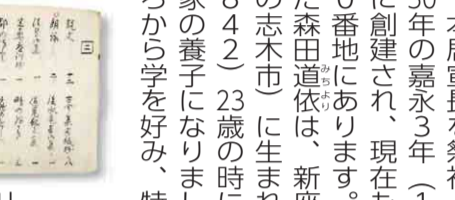
所沢文化財として国の登録有形文化財となった近世住宅遺構。私設美術館として公開されています。



文化財展で展示する市指定文化財 桜木神社文書

桜木神社は、本居宣長を祭神とし、宣長没後50年の嘉永3年(1850)3月に創建され、現在も下新井1360番地にあります。神社を創建した森田道依は、新座郡館村(現在の志木市)に生まれ、天保13年(1842)23歳の時に下新井村森田家の養子になりました。幼少のころから字を好み、特に古学の志が深く、本居宣長を尊信し、農業を営みながら学問に励みました。

資料総数437点の中から「所沢市文化財展」では、本居宣長の蔵書目録「蔵書目」などを展示します。



文化財を守り伝える

平塚宗臣さん(久米在住)「所沢郷土美術館の所有者」

狭山丘陵、柳瀬川沿いは埼玉県でも有数の大変古い歴史を秘めた土地です。

江戸初期の慶長16年(1611)に先祖が編さんした「武蔵国入郡久米郷旧蹟誌」は貴重な郷土誌でわが家に現存しています。これによるわが家の先祖は鎌倉時代に久米に住み着いたと言われています。私はここに書かれている鎌倉時代の久米氏や吾妻氏のこと、そして現存する平信能・能行の板碑などに関心を持つようになり、「吾妻鏡」を学ぶようになりました。

歴史を学ぶことはわれわれの郷土を知り、守り、そして郷土のこ

れからの展望を考える上で大変大切なことです。幸いわが家にも古文書ほか昔の資料が現存しています。また現在「所沢郷土美術館」として使用している旧宅も国の登録有形文化財になっています。

市内に残る多くの文化財を、どううり後世に伝えていくか、これからは個人で守れる時代ではありません。市が問題意識を新たにしてい博物館を作り、そこに集中して管理し、市民に歴史の重要性を伝えていく必要があると思います。



マナーを守って見学を

指定・登録文化財にはそれぞれ所有者(管理者)があり、見学には許可が必要です。常時公開していないものもありますので、文化財保護課へお問い合わせください。

また見学の際は、次の点を守ってください。

▶指定場所以外での喫煙、文化財の周囲での飲食はご遠慮ください。▶文化財を傷つけない、周囲を汚したりしないでください。

⑨多聞院毘沙門堂(市指定)

江戸時代、川越藩主・柳沢吉保が三富新田入植者の祈願所として建立した。現在の建物(1766年)は、明和3年(1766)に落成。

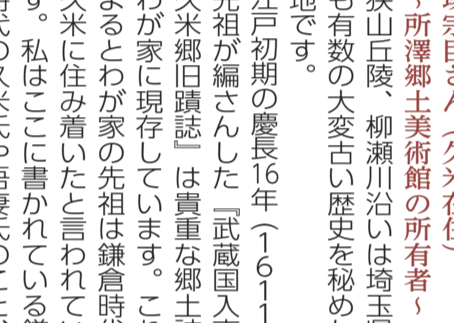


1月26日は文化財防火デー

1月26日は「文化財保護法」制定の契機となった法隆寺金堂壁画が焼損した日で、文化財防火デーです。貴重な文化財を火災・震災などから守るために、この日を中心として全国的に文化財防火運動を行っています。

文化財展で展示する市指定文化財 重松流祭ばやし(市指定)

所沢で生まれた古く重松が編み出した囃子の流派。



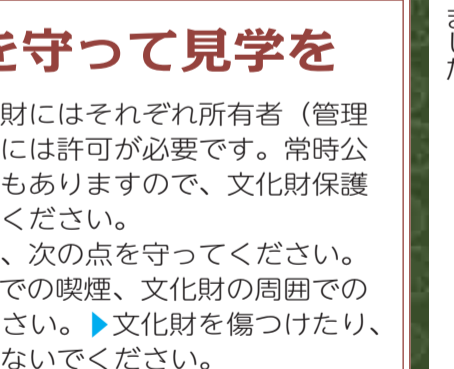
⑩砂川遺跡(市指定)

三ヶ島地区にあり、所沢で最初に発見された旧石器時代の遺跡。日本の旧石器時代研究に大きな成果をもたらした。



⑪安松の竹細工(市指定)

松井地区を中心に作られていたカゴやザルをはじめとする竹製品。



⑫ミヤコタナゴ(国の天然記念物)

かつて所沢に生息していたコイ科に属する日本固有の淡水魚。



ゴール

次は「所沢文化遺産案内マップ」を片手に文化財巡りを!

「所沢文化遺産案内マップ」は市内にある指定文化財などの一覧や、文化財が見られる



寺院・神社・施設などを紹介しており、観光情報や「ところバス」の停留所も掲載しています。市内散策のお供にぜひご利用ください。

配布開始日 1月20日(水)

配布場所 市役所6階文化財保護課、埋蔵文化財調査センター、まちづくりセンターなど

◎「所沢市文化財展」(4頁参照)では先行配布します。

2マス展る



3マス展る



2マス展る

